

# 2016年3月期 第2四半期決算説明会

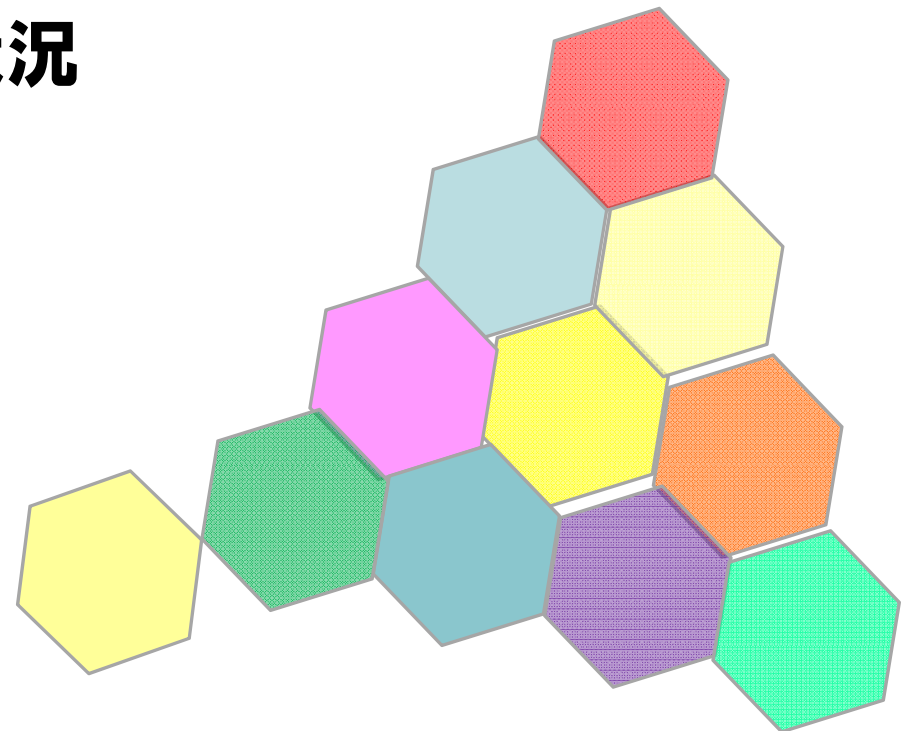
テクノホライゾン・ホールディングス株式会社

代表取締役社長 野村拡張

# 目次

---

- I. テクノホライゾングループについて
- II. 2016年3月期 第2四半期決算概況
- III. 2016年3月期 通期業績予想
- IV. 事業構造改革の進捗状況



# I. テクノホライゾン（Technohorizon） グループについて

## テクノホライゾン・ホールディングス（会社概要）

社名 (英文名)	テクノホライゾン・ホールディングス株式会社 (TECHNO HORIZON HOLDINGS CO., LTD.)
設立年月日	2010年4月1日
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>傘下の事業会社の経営管理</li><li>子会社の事業内容は「光学事業」と「電子事業」</li></ul>
所在地	愛知県名古屋市南区千竈通二丁目13番地1
代表者	代表取締役社長 野村 拡伸
資本金	2,500百万円(2015年3月末現在)
グループ従業員総数	1,090名(2015年9月末現在連結ベース)

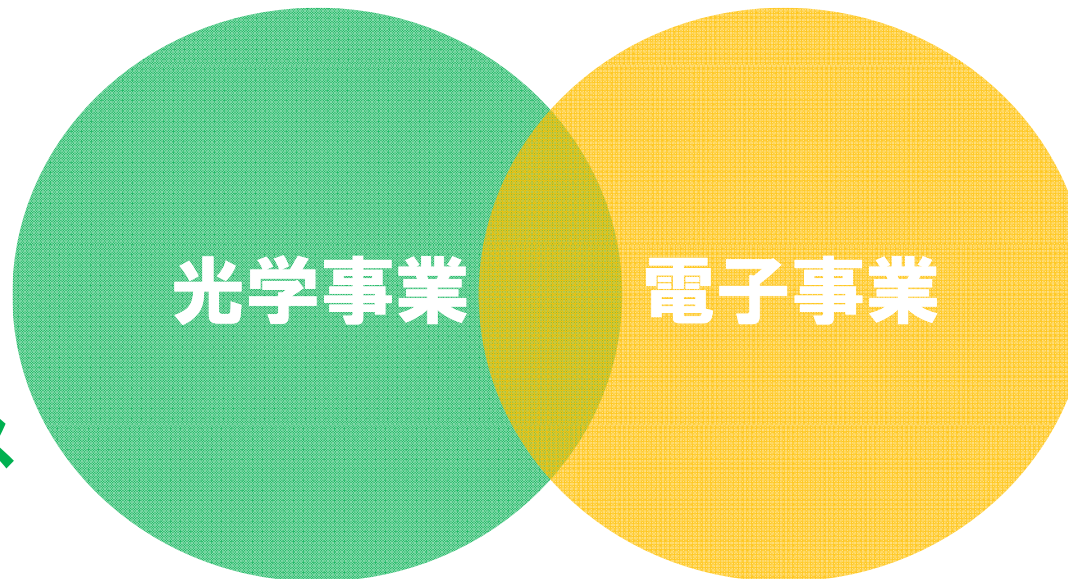
## テクノホライゾン・ホールディングス（設立経緯）

---

オプト・エレクトロニクス技術と強いマーケティング力  
をもってグローバルな事業展開を推進すべく  
JASDAQ上場2社が2010年に経営統合

エルモ社

SUWA  
オプトロニクス



タイテック

ファインフィット  
デザイン

中日電子

グラフィン

## テクノホライゾン グループ経営理念

---

- ◆ **オプト・エレクトロニクス技術**  
を核にグローバルな『人と社会』に貢献する
- ◆ **知恵とアイデアと積極果敢さ**  
に溢れた事業展開を追求する
- ◆ 『**技術を活かすこと**』  
『**皆さまのお役に立つこと**』  
という姿勢を貫き、着実に前進する

# 光学事業 (1)

## (株)エルモ社

各種映像機器の開発・製造・販売を行っており、  
教育・オフィス市場で知名度高く書画カメラを中心にして  
CRS(クラスルームソリューション)を推進

書画カメラ



教室用無線アクセスポイント



電子黒板



ホール用映像  
制御システム



モバイル  
プロジェクター



監視カメラ



超広角デジタル  
ムービーカメラ



ホームセキュリティ  
クラウドカメラ





## 光学事業 (2)

### (株)SUWAオプトロニクス

光学用金型・プラスチック成形から  
レンズ・光学ユニットまで  
開発から製造まで一貫して対応

プロジェクター及び監視カメラ  
光学ユニット



ヘッドアップ  
ディスプレイ



3D計測用  
光学ユニット



医療内視鏡用  
光源ユニット





# 電子事業 (1)

## (株)タイテック

経験豊富なロボット制御技術を基礎に  
新製品開発力とフレキシブルな対応で  
**FA関連機器事業を拡大**

FA向コントローラ



表現力豊かなH.M.I.



## 電子事業 (2)

### (株)ファインフィットデザイン

多彩な電子製品開発技術に裏打ちされた  
コア技術の展開で情報通信機器事業に注力

ドライブレコーダ



デジタルタコグラフ



ポイント・決済端末機



IPカメラドアホン



POSオーダーシステム



バックモニター一体型ドライブレコーダ

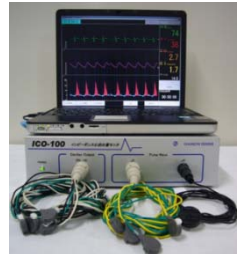


## 電子事業 (3)

### (株)中日電子

得意技術である「生体情報の取得技術」を活用した  
医療機器の開発・製造・販売

インピーダンス心拍出量モニタ



組織酸素代謝モニタ



画像圧縮・伝送技術の開発・製造・販売

デジタル自主放送システム



医療用録画システム

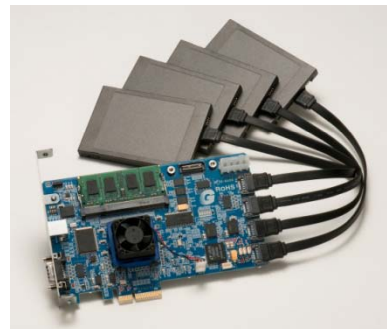


## 電子事業 (4)

### (株)グラフィン

生産現場の検査等で活用される高速画像  
インターフェイスボード検査装置の開発・販売

画像処理計測用  
インターフェイスボード



携帯電話・スマートフォン用  
カメラユニット検査装置



## **II. 2016年3月期 第2四半期決算概況**

## 2016年3月期 第2四半期決算 ハイライト (1)

- 【売上高】 売上は微増  
 【営業利益】 開発投資の増加に加え、利益率悪化により減益  
 【経常利益】 営業外収益(為替差益)75百万円計上

グループ連結 (単位:百万円)	上半期 実績	前年同期 実績	前期増減
売上高	10,341	9,991	3.5%
営業利益	131	206	△36.1%
経常利益	151	169	△10.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	108	83	30.4%

## 2016年3月期 第2四半期決算 ハイライト (2)

### 【事業セグメント別】

#### 【光学事業】

- ・ 文部科学省による教育のICT化推進の追い風もあり国内書画カメラ販売は堅調
- ・ 米国書画カメラ販売は下げ止まり感、ドイツ等欧州が堅調
- ・ クラウドカメラ等の新製品の開発を推進
- ・ コスト大幅削減や利益率改善

事業別売上高 (単位:百万円)		上半期 実績	前年同期 実績	前期増減
光学事業	売上高	5,990	6,251	△4.2%
	営業利益	90	73	22.5%

注:事業セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費等を除外しております。



## 2016年3月期 第2四半期決算 ハイライト (3)

### 【事業セグメント別】

#### 【電子事業】

- ・ FA関連機器は、国内販売は堅調。中国での販売は景気減速懸念から、受注の後ろ倒し等もあり弱含みで推移
- ・ 携帯電話／スマートフォン用カメラモジュール検査装置が投入スケジュールの後ろ倒し等もあり当初計画を下回る
- ・ 開発やマーケティング投資も積極的に行った結果わずかに赤字

事業別売上高 (単位:百万円)		上半期 実績	前年同期 実績	前期増減
電子事業	売上高	4,350	3,739	16.3%
	営業利益	△7	115	—

注:事業セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費等を除外しております。

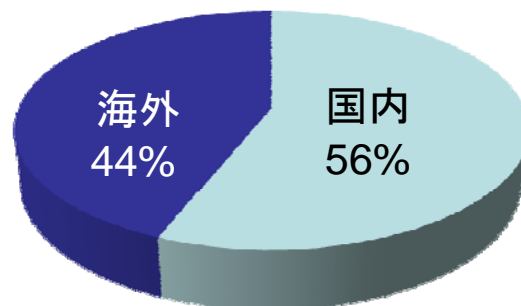
# 2016年3月期 第2四半期決算 ハイライト (4)

## 【国内外販売比率】

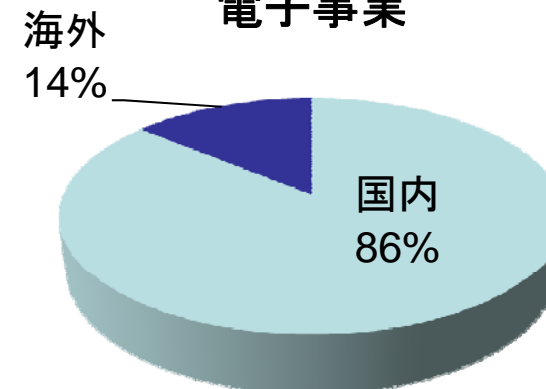
(単位:百万円)

事業セグメント	地域別売上高	上半期実績	前年同期実績	今後の動向
光学事業	国内	3,334	3,704	国内低採算製品の売上が減少 海外教育販売は増加
	海外	2,656	2,547	
電子事業	国内	3,763	3,329	国内・海外ともにFA中心に増加
	海外	586	410	

光学事業



電子事業



## **III. 2016年3月期 通期業績予想**

## 2016年3月期 通期業績予想

(単位:百万円)	上半期 実績	通期予想	前上半期 実績	通期予想 対比進捗
売上高	10,341	21,500	9,991	48.1%
営業利益	131	250	206	52.4%
経常利益	151	150	169	100.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	108	50	83	216.0%

### 【下期の重点施策】

「教育」「FA」「医療」「安全・生活」の4つの市場分野を重点戦略として、攻めの事業展開を加速

- ・教育では書画カメラだけでなくクラスルームソリューションの強化
- ・FAではコントローラ単品から画像を含めたシステム販売へ
- ・医療では下請けからコア技術応用型へ
- ・安全・生活では開発を強化しシェアの拡大へ

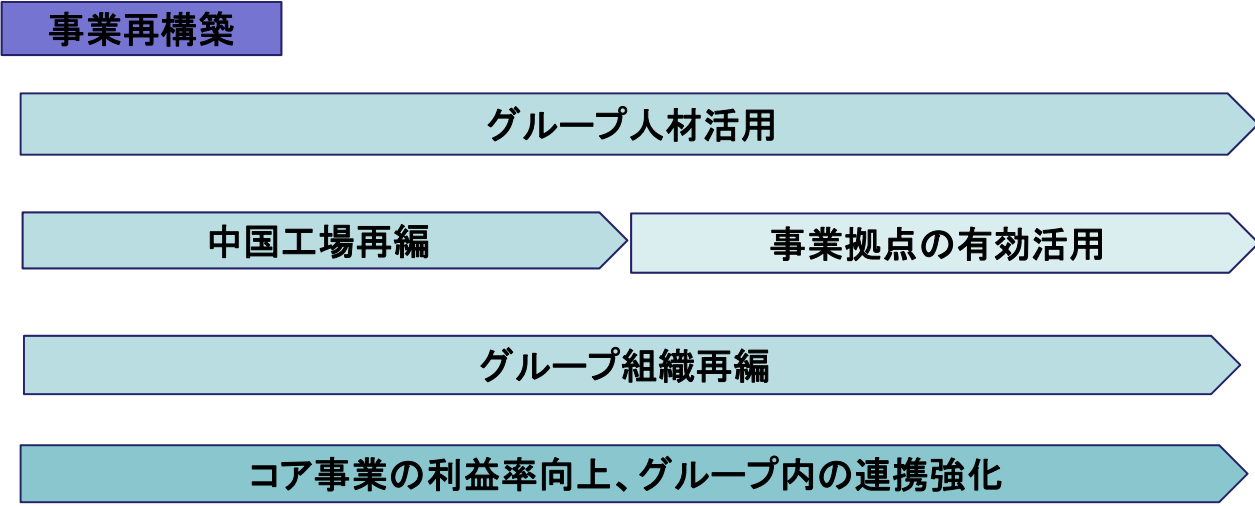
## **IV. 事業構造改革の進捗状況**

# (1) 構造改革の進捗状況

- ・ 光学事業は「大量生産」から脱却し、「利益率の高い事業」へ転換
- ・ 更なる事業構造改革を推進



## (1) 事業構造改革



## (2) 財務基盤の強化

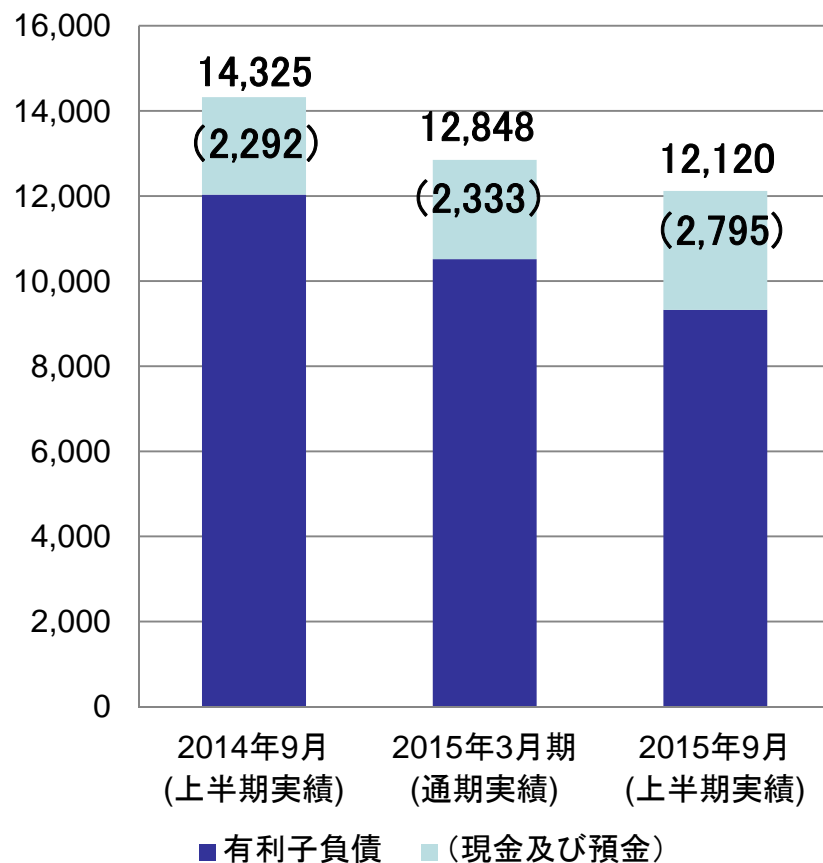


## (2)財務体質の改善状況

- ・ 純有利子負債は、前期末に比べ728百万円減少
- ・ 自己資本比率は、0.9%向上

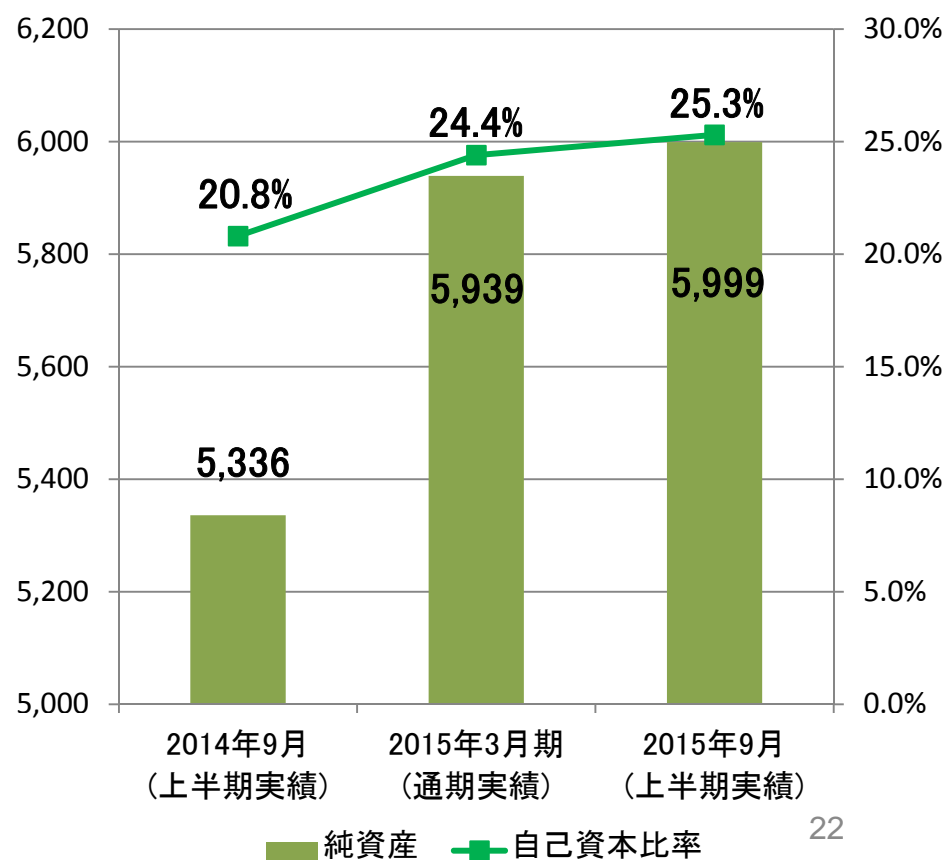
### ①有利子負債の状況

(有利子負債・現金及び預金残高:百万円)



### ②純資産の状況

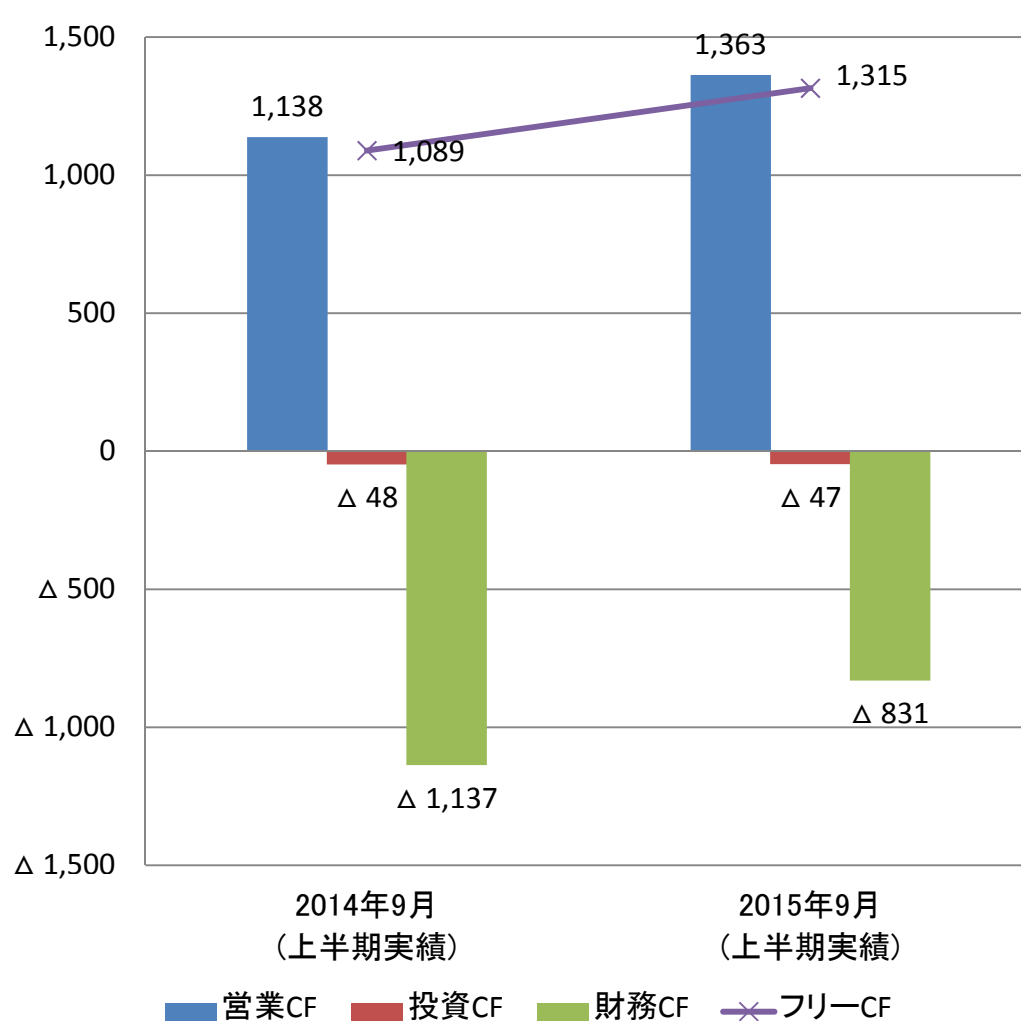
(純資産:百万円)





### (3) キャッシュフローの改善状況

- ・ 安定した営業CFを確保し、前年同期対比225百万円増加
- ・ 借入金の返済を積極的に実施



	2014年9月 (上半期実績)	2015年9月 (上半期実績)	前年 同期差
営業CF	1,138	1,363	+ 225
投資CF	Δ 48	Δ 47	+ 1
フリーCF	1,089	1,315	+ 226
財務CF	Δ 1,137	Δ 831	+ 306
四半期末 現金残高	2,292	2,795	+ 502

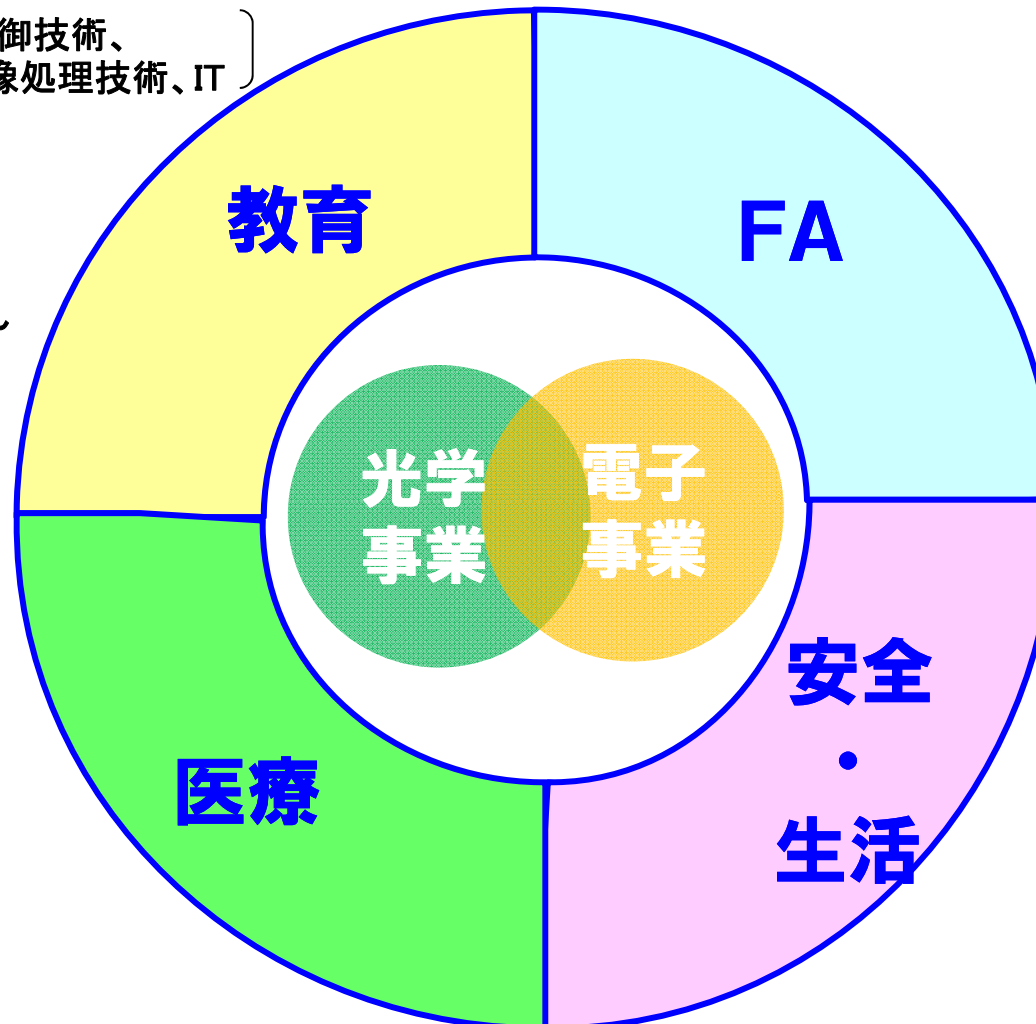
## (4)成長戦略

- 今後成長が期待される4つの市場に向けて事業育成
- 光学・電子の技術を融合させていく

〔カメラ技術、制御技術、  
光学技術、画像処理技術、IT〕

・教育のIT化など  
さらなる高度化が  
世界的に推進され  
ていく

・医療の高度化は  
ますます求められ  
ていく



・中国を中心とした  
ものづくりの為の  
自動化設備の  
ニーズは高まって  
いく

・セキュリティや  
自動車などの  
マーケットはさらに  
進化し広がっていく

## (4)成長戦略

### ドバイ駐在員事務所(ELMO EUROPE SAS, Middle East Office)開設



＜ELMO EUROPE SAS ドバイ駐在員事務所＞

名 称：ELMO EUROPE SAS, Middle East Office

所 在 地：アラブ首長国連邦ドバイ首長国ドバイ市  
ドバイエアポートフリーゾーン内

開 設 日：平成27年10月1日

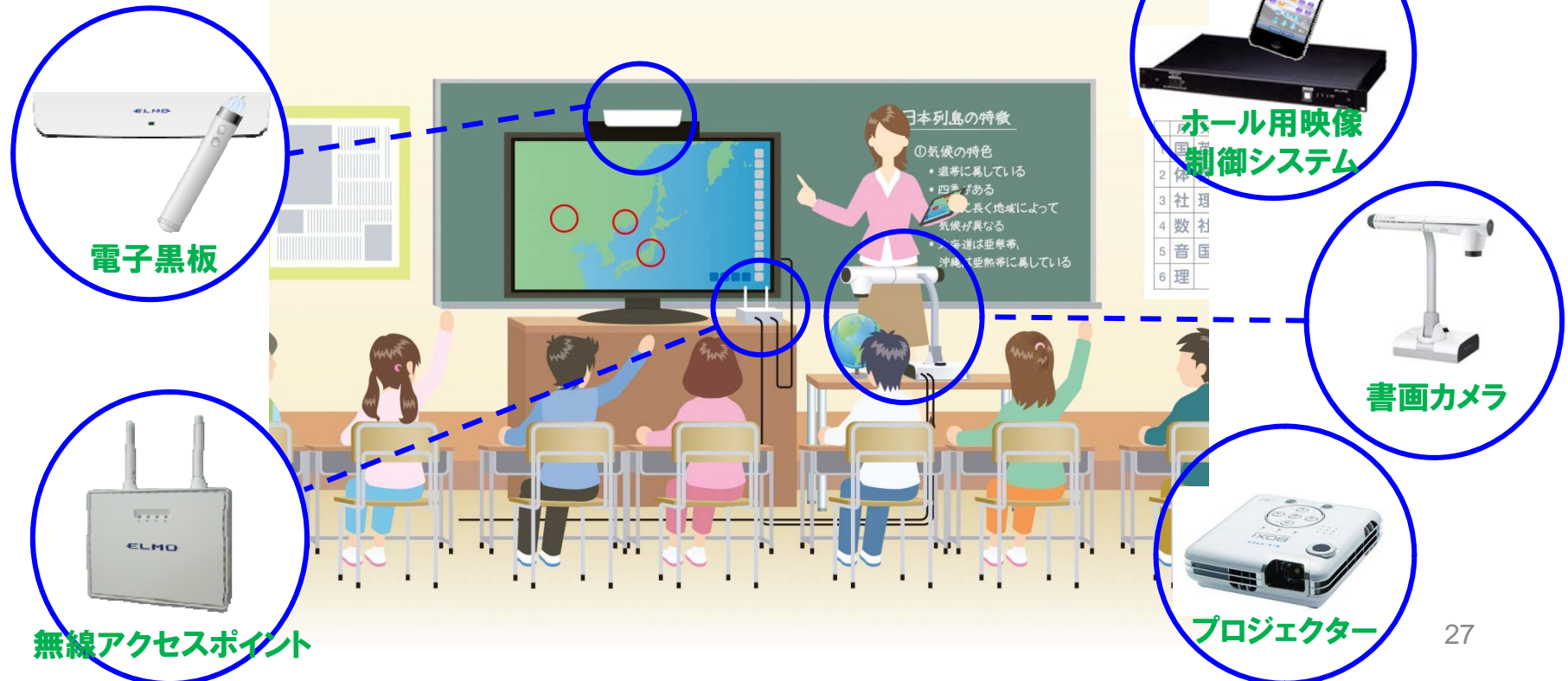
進出目的：中東地域では、教育市場へのICT機器が年々増加しており、書画カメラを始めとした教育システム機器の販売を通じて、教育の発展に貢献。また今後の経済発展が期待される東アフリカ地域への販売網の整備を進める。

## (5)成長戦略：新規顧客の獲得・マーケティングの強化

開催日	開催場所	展示会名
2015年4月	東京ビッグサイト	光・レーザー技術展 Photonix2015
2015年5月	東京ビッグサイト	第6回教育ITソリューションEXPO
2015年5月	パシフィコ横浜	人とくるまのテクノロジー展
2015年5月	マリンメッセ福岡	賃貸住宅フェア2015:福岡
2015年5月	東京ビッグサイト	運輸システム EXPO 2015
2015年6月	東京ファッションビル	New Education EXPO2015:東京／大阪
2015年6月	パシフィコ横浜	画像センシング展2015
2015年6月	東京ビッグサイト	第19回 機械要素技術展 M-Tech
2015年6月	中国・深セン	2015 国際撮像技術及光学製造展覧会
2015年8月	東京ビッグサイト	賃貸住宅フェア2015:東京
2015年10月	富山県民会館	第41回 全日本教育工学研究協議会全国大会 富山大会
2015年10月	株式会社エルモ社	ELMOテクニカルソリューションフェア in 名古屋
2015年11月	上海	中国国際工業博覧会
2015年11月	東京都立産業貿易センター 台東館	ELMOテクニカルソリューションフェア in 東京

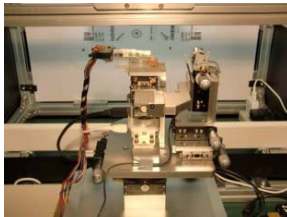
## (5)成長戦略：「教育市場」

- クラスルームソリューションのグローバル展開
  - ・日本、米国、欧州に続きアジアでもシェアを拡大させる
- 教室ネットワーク環境及び多機器間の連携に必要なとされるソリューション製品開発
  - ・タブレット、IT化に向けて機器、ソリューションの強化



## (5)成長戦略：「FA市場」

- 多軸ユニット及びロボットコントローラの  
拡販による国内外のシェア拡大



アライメント(位置調整)  
装置



画像処理カメラ

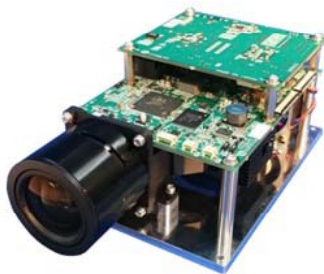


ロボットコントローラ



工場イメージ

- 画像装置の育成及びシステム事業の育成



3D計測用  
プロジェクター



顕微鏡用WiFiカメラ



カメラモジュール  
製造・検査装置



工場ITシステム構築支援サービス



## (5)成長戦略：「医療市場」

- 医療機器技術を新規顧客に提供しEMSで業績拡大を図る



インピーダンス  
心拍量モニタ



組織酸素代謝  
モニタ



生体モニタ



エコー画像記録装置



病院イメージ

- 他社とのアライアンス強化



喉頭鏡



医療ファイバースコープ  
光源ユニット



水素ガス発生装置

※当機器は医療機器ではありません。 29



## (5)成長戦略：「安全・生活市場」

### ■ 監視等用途に合わせた最適なカメラ・映像システムの開発

(イメージ図)



フルHD  
ネットワークカメラ



ホームセキュリティ  
クラウドカメラ



フィールドカメラ



列車用ネットワークカメラ



IPカメラドアホン



デジタル  
自主放送システム

### ■ 自動車運転支援・自動車安全装置の育成



安全運転支援装置研究向け  
映像ロガー



ドライブレコーダ



バックモニター付き  
ドライブレコーダ



自動車用  
ヘッドアップディスプレイ

### ■ デジタコ・ポイント決済端末など運輸流通市場の業務改善のための新商品の開発



MFIB(マルチ・ファンクション・  
インターフェース・ボックス)



デジタルタコグラフ



ポイント・決済端末機

## IR担当窓口

- 部署：テクノホライゾン・ホールディングス株式会社
- 役職：総務部長
- 氏名：加藤 靖博
- 電話：052-823-8551
- FAX：052-823-8560
- E-mail： [info@technohorizon.co.jp](mailto:info@technohorizon.co.jp)

## 将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。